

初心忘るべからず

同窓会会長 大橋 光夫

会員の皆様には、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。千葉県立成田北高等学校も創立十周年を迎え、この上ない喜びを覚えます。

昭和五十五年四月十五日、古くから門前町として栄えてきた成田、これから世界の重要な都市としてはばたく成田に、千葉県立成田北高等学校が誕生いたしました。当時、我が成田北高は現在の南校舎しかなく、近くの成田西高を会場にして入学式を行いました。在学中は、二年目に北校舎の完成、三年目に、校舎、体育館、グラウンドの泥沼状態なども整備され、全体の形が整いました。

当時、マスコミが、学校や教師に対する批判をこぞって取り上げていましたが、成田北高の先生方には、情熱があり、対話があり、ふれあいがありました。朝日新聞の「声」という欄に、学校、教師に対する信頼感が奪われつつあるようで耐え難いと投書した先生、高校野球千葉県大会の試合に負けた後「次の大会では、必ず勝てよ」と、部員にラーメンを食べさせて励ましてくれた先生など、成田北高には、今にも体から情熱がはみ出しそうな先生方がたくさんいました。そのような中で、苦楽を共に出来たことを深く感謝しています。

そして、昭和五十八年より、会員の相互の親睦を図り、母校の発展に資する目的で、同窓会が発足しました。

毎年、八月第一日曜日に総会、卒業式には筒の贈呈、創立五周年には記念誌の発行、校舎に大校章の設置、そして十周年の記念事業と、母校の発展を願って努力してきました。「初心忘るべからず」という言葉を胸に刻みこみ、これからも頑張っていきたいと思えます。

同窓会に対しては、今後とも、御理解、御協力の程よろしく願っています。

最後に、千葉県立成田北高等学校の益々の御発展と、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。